



埼玉県三郷市 (仮称)南部地域拠点防災コミュニティ施設

三郷市の概要

三郷市は、東京都心まで20キロ、埼玉県の南東部に位置し、江戸川や中川などの川に囲まれており、豊かな自然に恵まれた魅力あふれるまちです。JR武蔵野線、つくばエクスプレスの開業や常磐自動車道、首都高速道路、東京外環自動車道、三郷流山橋有料道路の開通により、都心や関東各県への交通アクセスの要衝として発展を続けております。また、市内での大規模開発により、大型商業施設の開業や宅地造成が進んだことで子育て世代が流入するなど、より一層の賑わいを見せています。



つくばエクスプレス
(三郷から秋葉原まで約20分)



三郷流山橋有料道路開通
(令和5年11月26日)



一方で市の立地する県東部が平均標高の低い沖積低地が広く分布していることから、利根川、江戸川、中川及び荒川が氾濫した場合には、市への大きな影響が懸念されているところです。加えて東京湾北部地震等の大規模な地震が発生した場合、市の南部地域を中心に震度6強の強い揺れが、それ以外の広い範囲では震度6弱の揺れが発生することが想定されております。また、建物被害や電気・ガス・上下水道等のライフライン機能の停止などから、要配慮者を含む多数の避難者が想定されているほか、2万人近くの帰宅困難者の発生などから、大きな混乱が発生することが想定されております。





埼玉県三郷市

(仮称)南部地域拠点防災コミュニティ施設

【事業の目的】

- ◎ 災害の可能性が高まっている現在だからこそ、市民が災害地域特性を知り、災害の備えや行動をはじめとした自助・共助について学び、防災意識の啓発等を図る
- ◎ 防災備蓄品・資材の備蓄や避難が可能なスペースを備えることで市民の安心安全な生活を確保する



【防災体験学習機能】

- (1) 防災VR体験ルーム（非ゴーグル型VRを活用したコンテンツを用意）
- (2) 防災コミュニケーションテーブル（大型映像テーブルやプロジェクターの投影による災害・防災の学習ツール）
- (3) 減災学習ルーム（実際の家を模した空間で地震・水害が発生した時の被災状況を演出）

【コミュニティ機能】

- (1) 防災コミュニティホール（収納式の観覧ステージを設置）
- (2) 防災研修室（平時は会議室等として利用可能）
- (3) 防災ラウンジ（フリースペースとしてソファや防災関係図書を配置）



施設外観イメージ（供用開始は令和8年中を予定）



防災ガイダンスシアター



多目的展示



防災VR体験ルーム



防災コミュニケーションテーブル



埼玉県三郷市 (仮称)南部地域拠点防災コミュニティ施設

施設の整備により得られる成果

地域防災力の向上

市民に対する日頃の防災意識の啓発、自助、共助、公助の役割を知り、災害地域特性や、備え行動の知識を習得

⇒ 受入れは市内だけではなく近隣からも行うため、三郷市だけではなく周辺地域も含めた防災力・防災意識が向上する。

発生が想定される大規模災害への備え



企業様のメリット

1. 市ホームページへの掲載（企業名、本社所在地、URL、寄附額など）
2. 広報みさと（発行数：58,000部／月）、SNSでの紹介
3. プレスリリース（15社に記者提供）
4. 当該施設にプレートなどを設置し紹介

連絡先

三郷市役所企画政策部企画政策課

電話 048-930-7829

メール kikaku@city.misato.lg.jp

担当 松島（主幹兼政策係長 企業版ふるさと納税推進担当）